



2019年9月6日

福岡市とLGWAN環境下でのAI-OCRとRPAの活用による 業務効率化の検証を実施

株式会社NTTデータ九州

株式会社NTTデータ九州は、福岡市へのRPA^(注1)導入支援業務の一環として、LGWAN^(注2)環境下でのAI-OCR^(注3)とRPAの活用による業務効率化の検証を実施します。

今回の効果検証では、AI inside株式会社(以下:AI inside)のAI-OCRソリューションである「DX Suite」と国内シェアナンバーワン^(注4)のRPAソリューションである「WinActor」を活用し、福岡市にて実際に使用している帳票等を読み取った場合の読取率を確認します。

今後、RPAとAI-OCRとの連動シナリオを用いた効果検証についてもあわせて実施し、2019年11月をめどに成果発表を行う予定です。

【検証の概要】

福岡市では、福岡市役所における業務の効率化を目指し、RPAにより業務システムへの入力作業等を自動化する、AI-OCRとRPAを併用した業務効率化の効果を検証します。

今回NTTデータ九州は、福岡市へのRPA導入支援業務の一環としてAI-OCRソリューション「DX Suite」とRPAソリューション「WinActor」を活用し、以下を検証します。

■検証の観点

- ・実帳票での識字率(読取精度)
- ・LGWAN ASP サービス(DX-Suite LGWAN 版)を用いた一連の作業手順
- ・AI-OCRとRPAの連動による業務時間の削減効果

■検証期間: 2019年9月～2019年11月

- 対象業務:
- ・所得報告書の入力業務(保健福祉局生活福祉部保険年金課)
 - ・福祉用具購入費支給申請書の入力業務(保健福祉局高齢社会部介護保険課)
 - ・給与支払報告書総括表の入力業務(財政局税務部法人税務課)
 - ・事業等交付金の支払業務(財政局財産有効活用部財産管理課)

【今後について】

検証結果については2019年11月をめどに公開し、各地方公共団体における当該ソリューションの有効性を示すとともに、申請書のデジタル化に伴う業務量削減効果の測定結果等、具体的な導入につながる情報提供を実施する予定です。

【「DX Suite」について】

AI inside が提供する「DX Suite」は大量の紙書類を高精度で仕分け・データ化し、業務効率化を支援する AI-OCR ソリューションです。

(参考)NTTデータ 2018年9月27日ニュースリリース「AI inside 社と業務提携し、RPAとOCRによる一元的な事務効率化を実現」

<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2018/092701.html>

【「WinActor」について】

Windows 操作ロボット「WinActor」は、2010年に日本電信電話株式会社の研究所が開発した技術をベースとする純国産の RPA ソリューションで、提供パートナー開拓や技術研修教材作成等を、販売元のNTTデータ九州が担当しています。

(注1) RPAとは、「Robotic Process Automation」の略語で、パソコン上で行う定型的な作業をパソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念です。

(注2) LGWANとは、都道府県や市区町村などの地方自治体のコンピュータネットワークを相互接続した広域ネットワークのことです。

(注3) AI-OCRとは従来のOCR技術と「機械学習」・「深層学習」とを組み合わせ、学習した内容に基づいてルールを見出して読み取る技術のことで、手書き文字や項目ごとの認識を高い精度で行えるものです。

(注4) RPABANK Web サイト:<https://rpa-bank.com/report/5415/>

*「DX Suite」は日本国内におけるAI inside 株式会社の登録商標です。

*「WinActor」は日本国内におけるNTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

■製品・サービスに関するお問い合わせ先

株式会社NTTデータ九州

社会基盤事業部

大塚、榮田

Tel:092-475-5129